



元気に外遊び

物が飼育されている。小動物に加え、羊のムフランと犬のルナもあり、子どもたち自身でエサを与えている。「ムフランを園庭に放すと、皆さんと一緒にかけっこして遊んでいます」と園長。みんなムフランが大好きだ。「動物は命あるものですから、死ぬ

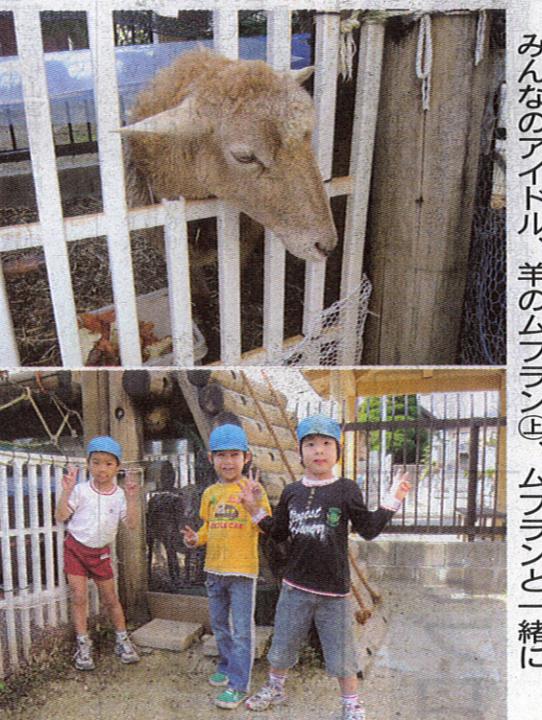
DATA

- ◆園長 中島章裕
- ◆園児数 256人
- ◆実家庭数 202世帯
- ◆保育目標 家庭教育の補完を行う生活の場(養護)、発達に応じた教育の場(教育)、保護者や地域の人々の話し合いの場(交流)、地域の子育てを支える場(支援)
- ◆所在地 豊橋市牟呂中村町6-1

保護者の子育てパートナー

「保護者と一緒に育てを楽しむ」ことを第一に掲げた園。「子育ての支援者というよりパートナー的存在でありたい」と、中島章裕園長は語る。たとえば、早寝早起きが自発的にできるように「早起きカレンダー」を作り、月に1週間を目標に、園児が自発的に早起きできるよう工夫をしている。さらに、早く園に来ると給食の下ごしらえを手伝

「保護者と一緒に育てを楽しむ」ということを第一に掲げた園。「子育ての支援者というよりパートナー的存在でありたい」と、中島章裕園長は語る。たとえば、早寝早起きが自発的にできるように「早起きカレンダー」を作り、月に1週間を目標に、園児が自発的に早起きできるよう工夫をしている。さらに、早く園に来ると給食の下ごしらえを手伝



会話引き出す「お知らせくん」

施されている。園内では多くの動

の保育体験、高校生のボランティア受け入れなど園外との交流も盛ん。月1回土曜日に、小中学生・高校生に加え保護者と地域住民も参加し、ともにふれあう「仲良し保育」が実

行なっている。園長によると、「お知らせくん」は、園内では多くの動どう対応するかも子どもたちは見ています。命を大切にする大人の姿勢を見せることで、子どもたちは何かを学んでくれるといっています」

携帯電話を活用した家庭との交流活動もユニークである。17年前からビデオによる園便り「元気つ子ビデオ」を配布。子どもたちの普段の姿を家庭に知らせていく。また、その日の保育の様子を携帯メ

ールで毎日配信する「お知らせくん」好評である。「そ

日、園で何があるかを保護者が知つて、子どもたちも中学生のだんらんができません。命を大切にする大人の姿勢を見せるのではないかと考えて始めました」。成長9年からホームページも運営しておね

の保育体験、高校生のボランティア受け入れなど園外との交流も盛ん。月1回土曜日に、小中学生・高校生に加え保護者と地域住民も参加し、ともにふれあう「仲良し保育」が実

家地学校

TONICHI

えるというお楽しみを用意。「早起きすると楽しい」という前向きな姿勢を育てる配慮をしている。

小学校3年生までラブもあり、夕方からは0歳児から9歳までが一緒に遊ぶ。また、総合学習の時間を利用した小学生の来園や、家庭科の一環としての中学生

みんなのアイドル、羊のムフラン上、ムフランと一緒に